

あ と が き

- 1 堺市社会福祉協議会事務局長 陸田義孝様 から、ご多忙のなか身に余るご丁寧なご祝辞を戴き、ありがとうございました。衷心より厚くお礼申し上げます。
- 2 堺SA15周年誌は、恙無く編纂・印刷・製本を完了して、会員・元会員各位ならびにご支援者各位、関係機関にお届けの運びになりました。
- 3 SA連協（大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会）において、NPO部門設立の動き、ならびに組織の変更（理事会の設置）、会費問題が臨時総会（平成17年3月24日）に諮られ、一つの転換期を向かえるものと考えます。

この時期に、堺SAの「誕生から15年のあゆみ」を残すことが出来たことは、大変意義深いものと考えます（印刷原版は、CDに記録・保管）。

注：「15周年記念誌」が、SA連協より発行される。
- 4 堺SAの課題とも言える「南部講座（ビッグアイ）受講修了者」の、堺SA受入れに際して、本誌が少しでも役立つことを期待しております。
- 5 本誌の編纂経緯について、若干触れておきます。
 - ① 「堺SA〇〇年の歩み（仮題）作成企画案」 平成16年3月 幹事会に提案
 - ② 「 同 上 」 4月 定例会にて了承
 - ・作成部数：200部 ・作成体裁：ワープロ打ち コピー印刷
 - ・内作（印刷原紙・印刷コピー・製本）
 - ・A4 8～12ページ（A3 両面印刷 3～4枚）
 - ・作業チーム（記念誌編纂委員会）の編成
 - ・予算合計（配布郵送費含む） 5万円
 - ・スケジュール 平成16年5月～10月 10月定例会にて配布予定
 - ③ 「記念誌の名称」以下23項目について、詳細検討 6月10日
 - ③ 配布日 当初 16年10月 を
変更 " 12月 を再度
変更 17年 4月 発行に決定
 - ④ 設立から平成9年頃までの状況については、植木先輩から全面的なご協力を戴きました。投稿記事・会員名簿のご提供、活動状況について、長時間に及ぶ口頭説明等参考になる事柄を、聞かせて戴きました。

藤川先輩は、古い各年度の会員名簿のご提供、古い各年度の支部長名について、参考になる事項の提供を戴きました。滝川先輩は委員として過去の話、馬場先輩からは、委員として参考になる話を、また、各種の資料の提供を受けました。

各支部長・会長経験者には、資料のご提供を依頼しました。これに基づいて、各々ご返事を戴きました。

編纂委員からは、編纂作業に際して、多様なご意見を提起いただき、また写真等を提出して戴きました。
 - ⑤ 委員会は、幹事会・定例会開催日・時刻の前後の時間を活用して行いました。
- 6 本誌は、全て内作としました。本誌の版は、パソコンの「Microsoft Word 2000」により、作成しました。レイアウトの仕方にも、色々問題があります。印刷についても、全ページモノクロにしております。作成費用を考慮のことであることを、ご理解頂きますようお願い申し上げます。
- 7 最後になりましたが、堺SA平成16年度会員各位には、会長以下長期間に亘って本誌作成にご協力戴き、ありがとうございました。
- 8 本誌編纂を通じての纏めとして、「活動時の記録保存方法の確立」を、次回記念誌編纂の課題として、提起させて頂きます。早急に検討されることを切望します。

堺SA会員各位の献身的な活動によって、次の20周年誌が高い評価を受けられることを祈念いたします。

（編纂委員 中野記）